平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場会社名　静甲株式会社　　上場取引所　大
コード番号　6286　URL　http://www.seiko-co.com
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 鈴木　恵子
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役　(氏名) 小野田　敦　TEL 054-366-1106

四半期報告書提出予定日　平成23年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,730	12.7	△89	―	△66	―	△55	―
23年3月期第1四半期	4,198	△2.4	△126	―	△94	―	△49	―

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　△52百万円　(―%)　23年3月期第1四半期　△104百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△8.59	―
23年3月期第1四半期	△9.52	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	15,493	11,459	74.0
23年3月期	15,952	11,564	72.5

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　11,459百万円　23年3月期　11,564百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	8.00	―	8.00	16.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		8.00	―	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,200	△5.6	10	△89.7	40	△72.3	20	△98.5	3.08
通期	21,500	△0.8	240	1.3	280	△10.8	150	△75.7	23.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	6,483,323 株	23年3月期	6,483,323 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	982 株	23年3月期	982 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	6,482,341 株	23年3月期1Q	5,249,200 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく 四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、本年３月11日に発生した東日本大震災の影響により急激に悪化しましたが、その後サプライチェーンの復旧に伴い生産や輸出に回復の兆しが見られました。しかし、消費の手控えや厳しい雇用情勢など、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、車両関係事業は震災による新車の入荷遅れの影響を受けて前年同期の実績をやや下回りましたが、その他の事業は商品及び部品の入荷が早期に回復に向かったため前年同期の実績を上回りました。また、子会社である㈱エコノス・ジャパンを連結の範囲に含めたことによる増加もあって、当社グループの売上高は47億３千万円（前年同期比12.7%増）となり、利益面では経常損失６千６百万円（前年同期は９千４百万円の損失）、四半期純損失５千５百万円（前年同期は４千９百万円の損失）となりました。

〔産業機械事業〕

震災の影響により設備投資の先送りが発生して受注面では厳しい状況でしたが、当四半期においては前期末からの受注残案件を売上げることができました。また短納期の改造工事案件の売上もあったことや、子会社の連結による増加のため、売上高は７億５千３百万円（前年同期比24.4%増）と増収でしたが、営業利益は一部案件の原価高により２千４百万円（前年同期比36.1%減）となりました。

〔冷間鍛造事業〕

自動車部品は、一部では生産調整の影響を受けましたが、客先の北米向けピックアップトラック用部品の増産による増加があり、前年同期の実績を上回りました。加えて、主力である電動工具部品が堅調に推移した結果、売上高４億４千３百万円（前年同期比20.9%増）、営業利益５千３百万円（前年同期比20.3%増）となりました。

〔電機機器事業〕

主力のＦＡ関連機器は、商品の入荷遅れにより期初は厳しい状況でスタートいたしましたが、客先との納期調整を行いながら商品の確保に努め、電子機器や自動車業界など県内製造業向けの需要に応えることができました。また、大型機械設備の売上により、売上高10億８千７百万円（前年同期比48.9%増）、営業利益２千３百万円（前年同期比414.0%増）となりました。

〔車両関係事業〕

震災によりメーカーの生産が停止したことから新車の納期が大幅に遅れ、新車販売台数が減少いたしました。新車販売の落込みに伴い下取車の入庫が減少して中古車販売も低調に推移いたしましたが、部品・サービスが収益を下支えし、売上高は24億２千１百万円（前年同期比1.9%減）となりました。営業損益は経費削減により５千２百万円の営業損失（前年同期は９千３百万円の損失）と改善いたしました。

〔不動産等賃貸事業〕

前年同期並みの、売上高２千４百万円（前年同期比9.0%減）、営業利益９百万円（前年同期比12.4%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間末の資産合計は154億９千３百万円となり、前連結会計年度末から４億５千９百万円減少いたしました。

この内、流動資産は78億３千９百万円となり、前連結会計年度末から５億５千万円減少いたしました。この主な原因は、現金及び預金の減少１億３千万円、受取手形及び売掛金の減少８億６千１百万円、商品及び製品の増加２億６千５百万円及び仕掛品の増加１億７千９百万円です。

固定資産は前連結会計年度末とほぼ同額の76億５千３百万円となりました。

負債合計は40億３千３百万円となり、前連結会計年度末から３億５千４百万円減少いたしました。この主な原因は、支払手形及び買掛金の減少２億４千５百万円、賞与引当金の増加１億８千２百万円、退職給付引当金の減少２億１百万円です。

純資産合計は114億５千９百万円となり、前連結会計年度末から１億４百万円減少いたしました。この主な原因は、利益剰余金の減少１億７百万円です。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の通期連結業績予想につきましては、車両関係事業ではエコカー補助金の終了により厳しい市況となっており、前年同期の実績を下回る見込みです。一方、冷間鍛造事業は受注が堅調に推移しており、電機機器事業では商品供給が正常に向かっているため、これらの事業は前年同期並みの実績となる見込みです。また包装機械事業では震災の影響により下期に繰越しとなった案件がありましたが、通期では前年同期の実績を上回る見込みです。

これらのことから、平成23年７月15日付「業績予想に関するお知らせ」で公表したとおり、平成24年３月期の通期連結業績予想を売上高215億円、経常利益２億８千万円、当期純利益１億５千万円としております。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算方法

当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,831,146	2,700,815
受取手形及び売掛金	3,716,092	2,854,296
商品及び製品	673,798	939,382
仕掛品	659,934	839,876
原材料及び貯蔵品	32,927	32,889
その他	480,136	475,315
貸倒引当金	△3,969	△3,323
流動資産合計	8,390,067	7,839,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,869,908	1,942,837
土地	2,996,375	2,996,375
その他（純額）	881,112	893,844
有形固定資産合計	5,747,396	5,833,056
無形固定資産	42,260	41,514
投資その他の資産		
投資有価証券	1,223,764	1,229,315
その他	549,196	550,138
貸倒引当金	△68	△73
投資その他の資産合計	1,772,891	1,779,380
固定資産合計	7,562,549	7,653,951
資産合計	15,952,616	15,493,204
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,742,026	1,496,842
短期借入金	42,304	27,599
未払法人税等	102,679	27,034
賞与引当金	355,379	538,027
その他	1,084,428	930,331
流動負債合計	3,326,817	3,019,836
固定負債		
長期借入金	200,606	199,055
退職給付引当金	528,416	327,058
役員退職慰労引当金	133,149	138,252
資産除去債務	48,552	48,700
その他	151,016	301,080
固定負債合計	1,061,741	1,014,147
負債合計	4,388,558	4,033,983

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,337,000	1,337,000
資本剰余金	1,833,576	1,833,576
利益剰余金	8,134,656	8,027,084
自己株式	△644	△644
株主資本合計	11,304,588	11,197,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	259,469	262,204
その他の包括利益累計額合計	259,469	262,204
純資産合計	11,564,058	11,459,220
負債純資産合計	15,952,616	15,493,204

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	4,198,321	4,730,028
売上原価	3,335,777	3,812,545
売上総利益	862,543	917,482
販売費及び一般管理費	989,281	1,006,658
営業損失（△）	△126,737	△89,175
営業外収益		
受取利息	137	176
受取配当金	15,228	14,209
その他	25,541	14,958
営業外収益合計	40,907	29,345
営業外費用		
支払利息	894	1,077
売上割引	5,001	5,542
為替差損	1,918	3
その他	897	99
営業外費用合計	8,711	6,723
経常損失（△）	△94,541	△66,553
特別利益		
投資有価証券売却益	1,001	－
貸倒引当金戻入額	653	－
退職給付制度終了益	－	4,543
特別利益合計	1,655	4,543
特別損失		
固定資産除却損	1,375	5,109
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	35,166	－
特別損失合計	36,541	5,109
税金等調整前四半期純損失（△）	△129,428	△67,120
法人税等	△46,327	△11,406
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△83,100	△55,713
少数株主損失（△）	△33,107	－
四半期純損失（△）	△49,992	△55,713

(四半期連結包括利益計算書)
(第１四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△83,100	△55,713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,368	2,735
その他の包括利益合計	△21,368	2,735
四半期包括利益	△104,469	△52,978
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△69,299	△52,978
少数株主に係る四半期包括利益	△35,170	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。